

令和元年度ユニバーサルデザイン研修を行いました！ テーマ「障害とは何か？ ～社会モデルからのアプローチ～」



実施日：令和2年1月29日（水）

参加者：60名

講師：谷内 孝行 氏（桜美林大学健康福祉学群准教授）

今年度は、桜美林大学の谷内 孝行氏を講師として招き、「障害とは何か？～社会モデルからのアプローチ～」をテーマに障害平等研修（DET）を実施しました。

DET（Disability Equality Training）は障害者差別解消法を推進するための研修であり、障害者の社会参加や多様性に基づいた共生社会を創ることを目的として、障害者自身がファシリテーターとなって進めるワークショップ型の研修です。講師である谷内氏も視覚に障害を持ち、DETファシリテーターとして活動されています。

研修では、初めに「障害とは～である。」と自分の考えを紙に書くことで、自分の中の障害への認識を問います。その後、映像資料やワークショップを通じてグループで話し合うことで、自分から障害解消のために行動する意識を持つことができ、最後に改めて「障害とは～である。」と考えることで、障害は周りの環境をみんなですべて変えていくことで解決していける。」という意識の変化を実感することが出来ました。



『お互いの立場を理解をすることが障害の解消に繋がると分かり、非常にためになりました。』



講師：谷内氏



『障害は環境と思っていた所もあるが、いわゆる障害者とはこういうものだという思込みも大きな要素であり、個々人の意識改革が大切。』

研修の目的：ユニバーサルデザインにあふれる市行政を推進していくためには、市職員一人ひとりが、ユニバーサルデザインの考え方を正しく理解することが必要です。本研修はユニバーサルデザインの考え方を学ぶ機会の充実を図るために、毎年開催しています。

相模原市ユニバーサルデザイン基本指針4つの方針

1. すべての職員がユニバーサルデザインの考え方を理解する
2. すべてのひとにやさしい情報・サービスを提供する
3. すべてのひとにやさしいまちづくりを進める
4. すべてのひとにユニバーサルデザインの考え方を広める

URL <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/seido/1004405.html>

市ホームページもご覧ください！

ユニバーサルデザインについての説明や、本市の取り組み事例を掲載しています。ユニバーサルデザイン通信で取り上げた以外の事例も紹介していますので是非ご覧ください。